

最上在住美術作家による三人展 開催中

最上在住美術作家による三人展

～醸し出される最上の色彩～開催のご案内

最上在住美術作家による三人展です。油彩、水彩、パステルなどの作品を、前期と後期に分けて展示いたします。前期は「四季の風景画」、後期は「個性豊かな作品」と内容を変えての展示です。三人の作家から醸し出される最上の色彩を、どうぞご堪能ください。

- 日 時 10月5日(金)～11月30日(金)
- ・前期展 10月5日(金)～10月31日(水)
- ・後期展 11月1日(木)～11月30日(金)
- 会 場 雪の里情報館 1F 雪国ギャラリー
- 美術作家 大沼秀夫・奥山敏彦・栗田美佐紀
- 入場無料
- 月曜休館日

※展示替えの日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。

最上在住美術作家による三人展
醸し出される最上の色彩



前期展「四季の風景画展」

十月五日(金)～三十一日(水)

後期展「個性豊かな作品展」

十一月一日(木)～三十日(金)



美術作家

大沼秀夫

奥山敏彦
栗田美佐紀

場 所 雪国ギャラリー

開館時間 九時～十七時

休館日 毎週月曜日

前期と後期で内容を変えて展示致します

お問い合わせ

雪の里情報館

〒996-0086
新庄市石川町 4-15
Tel. 0233-22-7891

公式HP



Facebook



講座『流雪溝の効果的な利用について』参加者募集

日時 11月18日(日)10:00～12:00

会場 雪の里情報館
2階雪国文化ホール

第1部 実践発表 10:00～10:45

◆大石田地区流雪利用協会連合会

◆沼田町流雪溝利用組合

第2部 協議 11:00～12:00



内容

流雪溝は住民生活に密着した除雪技術として古くから親しまれてきました。

しかしながら、近年住民意識や生活様式の変化とともに、運用の問題が指摘されるようになってきました。こうしたなか、先進的に取り組んでいる流雪溝組合の取り組み・事例をもとに流雪溝の望ましい利用のあり方を改めて検討します。

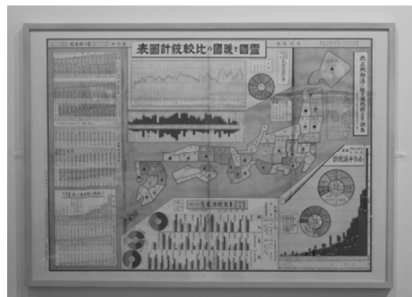
東京都森美術館・他、視察研修に行ってきました。



東京都港区六本木ヒルズ森タワー内森美術館で4月25日から9月17日まで開催の『建築の日本展その遺伝子のもたらすもの』へ展示される為、雪の里情報館が所蔵する、展示物及び史料等への借用願いが申し込まれた。新庄市社会教課の許可を得て、所蔵品11点を3月15日～9月27日の期間、貸出した。その経緯から森美術館への視察研修を行う。

(写真上)展示風景：「建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの」森美術館、2018年
撮影：来田 猛 画像提供：森美術館（東京）

Installation view: "Japan in Architecture: Genealogies of Its Transformation,"
2018, Mori Art Museum, Tokyo
Photo: Koroda Takeru Photo courtesies: Mori Art Museum, Tokyo



雪の里情報館は、新庄市から指定管理者の指定を受け、(株)東北情報センターで管理・運営しております。当館では、職員のスキルアップを目的として定期的に視察研修を行っており、今回は9月9日～10日の日程で、東京都へ視察研修に行ってきました。森美術館へ貸出した「実験農家」の模型、写真、資料の展示法・手法を視察し、改めて当館の展示手法や改善点を感じる良い機会になりました。視察先:国立西洋美術館・東京文化会館・上野の森美術館・森美術館・パナソニック汐留ミュージアム

ドキュメンタリー映画「雪國」映写会を開催しました。



10月12日(金)ドキュメンタリー映画「雪國」の映写会を開催しました。

この映画は、日本のドキュメンタリー映画の幕開きを告げたともいわれ、記録映画として高く評価されています。昭和11年から13年の長期に渡り旧農林省積雪地方農村経済調査所(雪調)を拠点に新庄、最上管内などで撮影が行われ、雪と闘い雪を克服していく人々の日常の姿を克明に記録した、戦前の昭和史を伝える貴重な映像です。当日は、予定数を大幅に上回る60名の参加者に鑑賞していただきました。お越しいただいた皆様ありがとうございました。この映写会は来年度も行う予定です。今回見逃した方や、もう一度ご覧になりたい方は、ぜひ足をお運びください。



雪の里情報館
tel (22)7891